

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○様々な教育活動を通して、自他を大切にし、互いを認め合い、高め合おうとする心情や態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・自分の心や体の健康に関心をもち、よりよい生活習慣を心がけ、進んで身体を動かせるようにします。 ・教育活動の充実と、安心・安全な学校生活のため、保護者や地域・中学校ブロック間の連携を強め、信頼される学校づくりを目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①児童の実態をもとに、教科書や道徳教材を計画的に活用し、道徳性を養う。 ②学校や地域での様々な場面を通して、気持ちのよい挨拶ができるよう、年間を通して挨拶運動に取り組み、思いやりをもって人と進んで関わる児童の育成を図る。 ③異学年交流や様々な行事などの体験活動を通して、自他の違いやよさに気づき、自己肯定感や自己有用感を育む。
担当	道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

穏やかで落ち着いた児童が多く、友達にも優しくすることができている。また、一人ひとりが学校生活を楽しみ、充実した学校生活を過ごすことができている。主体的に自分の考えをもち、積極的に行動するという点において課題が見られるが、様々な行事や取組を通して主体的な姿が見られるようにしたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】 道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・道徳科の学習では、児童の実態を的確に把握し、教科書や道徳的教材を活用し、しっかりと価値を理解することができるよう発問構成を工夫する。さらに、理解した価値をもとに、自己を見つめ、相手の気持ちに共感しながら語り合う授業をめざす。
- ・保護者・地域の方と連携し、ともに子どもたちの道徳性を養うために、道徳科の学習を授業参観で公開する。

【項目 自分づくり教育（キャリア教育）】 様々な体験活動を通じた自分づくり教育

- ・年間を通してケヤパ活動（たてわり活動）や挨拶運動を位置づけ、異年齢でのつながりやふれあいを大切にし、学校全体の仲間意識を高める。
- ・様々な行事や体験活動を通して、自他の違いやよさに気づき、自分の役割をもつとともに「自分も周りの人も大切にできる」心を育む。